



目指せ3トン!周年被覆アスパラガス立茎栽培法

少雪温暖な道南・日胆地方は、
周年被覆ハウスで栽培が可能！

冬期もハウスのビニールを
剥がさないため、
春芽収穫開始が1～3週間早く、
夏芽の収穫ピークが長く続く(図1)

周年被覆ハウスは、
露地越冬ハウスより
多収(図2)

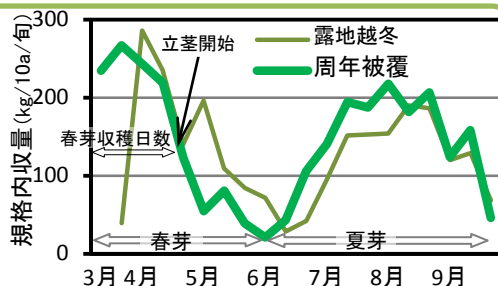


図1 周年被覆ハウスの規格内収量(2011年)

定植遅れと 過収穫による低収

田植えで
定植時期が遅れる

春芽収量低下する
若茎が細くなる

適春芽収穫日数を
超過して収穫！

春芽若茎が
だんだん細くなる

親茎が細くなる
茎数が足りなくなる

夏芽収量が低下する
若茎が細くなる

周年被覆ハウスを利用した対策

定植は5月に行う
6月定植は、2年間低収が続く(図2)。

適春芽収穫日数を守る(図2)
2年生株10～20日
3年生株30～45日
4年生以降株35～45日

超過した場合は？
翌年春芽収穫日数を
30日に短縮する(図2)。

一斉立茎法、順次立茎法どちらも良い
収量差はない(図2)。

立茎位置のバランスをとり、
太い親茎を選ぶ
萌芽する若茎が太くなる(図3)。収量は増えない。



窒素施肥量は、45kg/10a
(露地立茎ハウスと同じ)
立茎開始前の緩効性肥料で
夏芽収穫期間中の追肥の省略が可能。

留意点！
萌芽前に土壌診断に基づく施肥
対応と堆肥相当分の減肥を行う

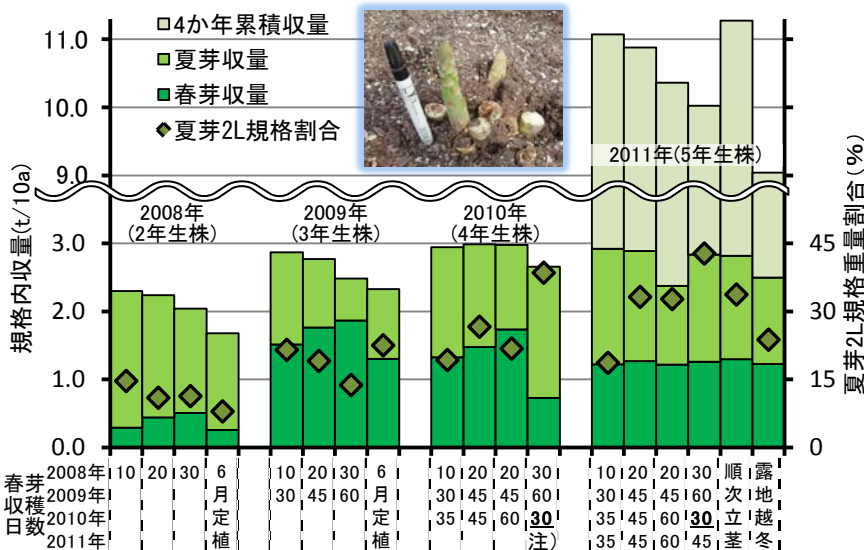


図2 春芽収穫日数、処理別の規格内収量、4か年累積収量(2008年～2011年)

注)春芽収穫日数30日短縮区

目標！ 春夏合計 3t/10a

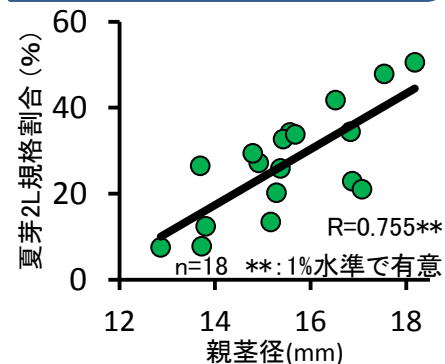


図3 親茎径と夏芽2L規格重量割合(2010年)